１　学校経営にあたって

１　学校経営の基盤

（１）本校の創設

本校は「新しい仁賀保町民づくり」の願いをこめて、昭和34年に平沢、院内、小出の３中学校を統合し創設された。当時としては、校地の広さと校舎の充実ぶりは画期的なものがあった。建設場所も３地域のほぼ中央の丘に位置し、校舎屋上からは、南に鳥海山、西に日本海、北に近代科学工場群、東には仁賀保高原が眺望できる好環境の地に求められた。校章は、霊峰鳥海山と３校の統合融和、未来に伸びゆく「仁中」を表徴している。

（２）地域の特性

本地域は旧町民憲章の中の、「太陽、緑、海の町」「心の通い合う町づくり」「健康、勤労、奉仕を喜び合える生活」、「世界に開かれた町づくり」、「学問、芸術、体育における活動の重視」に基づき、これまでその基盤を築き上げてきた。しかし、平成17年10月の三町（仁賀保・金浦・象潟）合併に伴う新市（にかほ市）誕生により、新市の掲げる「夢あるまち　豊かなまち　元気なまち」の指針を受け、教育の基本理念も「ふるさとに学び、ふるさとにかかわる教育の推進」のように「ふるさと」を教育の基点とすることに改めたところである。そこでこの精神を反映し、学校教育の目標もまた、「夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成」と、今後の本市の子どもたちのあるべき姿を願うものとなっている。

一方、本地域の平沢、院内、小出の地域には著名な政治家や文化人の輩出があり、時代とともに変遷があったものの、帝石、昭石、TDK等、石油化学の有力な企業の存在による豊かな経済力、雇用力は、その恵まれた環境とあいまって地域住民に独特の意識の高さと活力を与え、旧町政の教育投資も大きく、地域住民の教育・文化に対する要求水準も極めて高いものがある。また、本地域は平成２年度にアメリカ、オクラホマ州ショウーニー市と姉妹都市提携を調印し、以後、毎年国際交流団が訪問するなど、国際交流事業にも力を入れている。

＜仁賀保地区　世帯数3,848世帯、人口9,733人　※令和４年３月末現在＞

（３）本校の特性

生徒数216名、PTA世帯数191、学級数９（特別支援学級２）の適正規模であるが、生徒数は、昨年度比で28名減少となっている。学習、文化、スポーツにおいて輝かしい伝統をもつ中学校であり、進学率が高く部活動では各部とも、本荘由利地区内でも常に上位を占めている。

平沢小、院内小（平成27年度、小出小と統合され新生院内小学校となった。）の２小学校から入学し、保護者の学校に寄せる期待や関心は高くPTA活動も盛んである。

（４）校舎・校地の現況

平成２年度には全県に先がけてパソコン41台の設置、同３年度には、サッカーグラウンドの竣工、同４年度にはグラウンドの整備、さらに同８年度には、テニスコート４面、ソフトボール場の完成と、これまで着々と整備を進めている。また、平成17年度には校内すべてのパソコンを更新、イントラネット環境を整備するなど、IT時代を先駆けた先進的な教育環境へと一新している。しかし、近代設備を誇った校舎も50年を経て、校舎内外の損傷が激しく、早急に改修が望まれていた。平成18年度、釜ヶ台中学校との統合が決まり、新校舎建設検討委員会が発足、平成20年９月に統合仁賀保中学校建設が着工、旧校舎３棟の解体、解体にともなっての仮校舎建設、教室移転、21年３月には新体育館と武道場が完成、12月には新校舎が完成した。移転作業を経て３学期には新しい校舎での教育活動がスタートし、２月に

は創立50周年記念式典を新校舎で行った。同時期から３月までに残された旧校舎１・２棟と旧体育館・小体育館の全ての解体が行われ、平成22年度４月には、釜ヶ台中学校を統合した新生仁賀保中学校の開校となった。また、５月には外構工事が着工され、平成24年３月末日にはすべて完了した。令和元年10月には創立60周年記念式典を行い、令和２年８月には、生徒が普段学ぶ教室棟にエアコンが設置された。

（５）「ヒシカタの丘」の教育の創造を

中学生の時代は、人生において多感で、最も成長する時期である。その時期にどう学習し、どう生活するかは大変重要な意味がある。

本地域出身の齋藤憲三先生の生き方に学んで高い志をもち、ふるさとを愛し、母校仁賀保中学校を誇りにおもい、変化の激しい社会の中で他者と協働して力強く生きていける自立した人間を育成するために、仁賀保中学校での教育を、生涯忘れ得ぬよき友との「出会い」の場として、また、心に残る「学び」の場として、「ヒシカタの丘」で創造していきたい。

２　学校経営の理念

□ 知・徳・体のバランスのとれた教育の充実を図り、夢や希望をもち、志を立てて学ぶ意欲のある生徒の育成を目指す。

□ 人の役、地域の役に立つことができる生徒の育成を目指す。

□ 郷土を愛し、学校を愛し誇りにおもい、仲間を愛する心にあふれた生徒の育成を目指す。

３　学校教育目標

「ゆたかに　たくましく」

〈「温と厳」の指導のもとに、学力保障と成長保障〉

４　校　訓　～校歌の心　高らかに～

自主・自律　　協力　　敬愛

５　目指す生徒像

① 自主・自律　「自らを鍛えて伸びる生徒」

② 協　力　「ともに励み合う生徒」

③ 敬　愛　「はつらつと正しく強く行動する生徒」

６　目指す学校像

○ 生徒にとって　－ 学習内容がよく分かり、仲間と仲良く過ごせる魅力ある学校（通いたくなる学校）

○ 教職員にとって　－ 持ち味を十分発揮できる、やりがいのある学校

○ 保護者や地域にとって －自分たちの願いを受け止める信頼できる学校

７　目指す教師像

① 生徒に温かさと厳しさをもって指導する教師　～人間味あふれる教師

② 生徒の学力向上と心身の成長のために努力する教師　～凡事徹底できる教師

③ 生徒との関わりを大切にし、生徒と共に歩む教師　～師弟同行を実践する教師

④ 共に磨き合い、専門性を高める教師　～授業改善や評価を生かし、研修に励む教師

⑤ 保護者や地域と一体になって、生徒の成長に積極的に関わる教師　～地域貢献できる教師